



グループ通信

発行／ふれディアグループ本部 編集部
〒351-0022 埼玉県朝霞市東弁財1-3-4
朝霞台駅前ビル8F

全国相談窓口 ☎0120-116-017



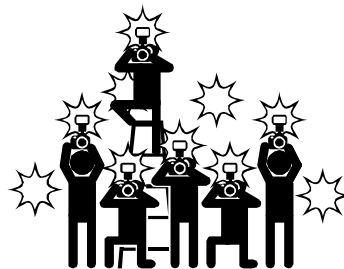
こんにちは、ふれディア通信編集部です。 雨に濡れた緑が、キレイな季節になりましたね。 “雨が滴るアジサイの葉とカタツムリ”なんて、6月のイメージの定番ではないでしょうか。ところで、カタツムリとは、何なのでしょう？ 「でんでん虫」という呼び方もありますし、「虫」なのでしょう？ 調べてみたら、そもそも「虫」という漢字は、ヘビの象形文字でした。そして、「虫」を3つ集めた「蟲」という漢字は、生物全般を表し、その略字として使われているうちに、「虫＝ヘビ」から、「虫＝人・獣・鳥・魚以外の生き物」というように意味が変わっていったのだそうです。ですので、今の分類で言うところの爬虫類や両生類、そして無脊椎動物などの全部が「虫」というわけです。今の私たちが「虫」と聞いてイメージするものは、昆虫やくモ・ムカデ・ダンゴムシなどだと思いますが、ヘビのことは「長虫」と呼んだりしますし、ナメクジを「害虫」、カタツムリを「でんでん虫」と言ったりしますから、昔の分類法の名残が色濃く残っていると言えそうです。では、カタツムリは何なのかというと、「陸に住んでいる貝のうち、殻をもって、触覚の先に目があって、肺呼吸で、殻にフタがついていないもの」とのこと。ちなみに、陸に住んでいる貝のうちで、「殻をもっていないもの」がナメクジです。子供の頃、カタツムリの殻から出たものが、ナメクジだと思ったことがあるかもしれません。小さい頃に誤解したままの方も結構多いそうですが、カタツムリの殻の中には内臓がそのまま入っているので、殻から引き出してもナメクジにはなりませんよ。やってみようとしている小さい子がいたら、止めてあげましょう(笑)。さて、カタツムリの、あのゆっくりした動きと、殻の中から目や触覚を出したり引っ込めたりするところ、なんとも愛嬌を感じますよね。ご自宅で犬や猫などのペットを飼うことが難しいという方は、カタツムリを飼ってみるのはどうでしょう。「マイペースな姿を見ていると癒される」という声もあるようです。カタツムリはご近所の公園やご自宅の庭でも見つけられる可能性大です。梅雨時期や秋の穏やかな雨の降る日は、活発に活動するので見つけやすいそうですよ。 休日は、カタツムリ探しの散歩に出かけてみてはいかがでしょうか。 ふれディア通信編集部



平成の重大ニュース プレバック!

【平成9年(1997年)】には何があった!?

この年は大手証券会社「やまいちしょうけん山一証券」の自主廃業や、北海道を地盤とする都市銀行「ほっかいどうたくしよくぎん北海道拓殖銀行」の経営破綻など、金融機関に対する不安がかつてないほど高まった1年でした。また、海外では4月にペルー・リマの日本大使公邸で人質事件が発生したり、7月には香港の主権がイギリスから中国に返還されるといった出来事もありました。そして、8月にはイギリスのダイアナ元皇太子妃が自動車事故で亡くなり、この突然の訃報は日本でも大きく取り上げられました。この事故の原因とも言われるのがスキャンダルを執拗に追い求める写真ジャーナリスト“パパラッチ”による追跡。これをきっかけに“パパラッチ”が日本でも注目されるようになり、この年の流行語・新語大賞のトップテンに入りました。



その他のニュース

島根県隠岐島沖の日本海でナホトカ号重油流出事故が発生／サッカー日本代表がW杯の本選に初出場／携帯電子ゲーム「たまごっち」がブームに／新語・流行語大賞「マイブーム」